



2004 ITU International Triathlon, Makuhari
2004 ITU インターナショナルイベント 幕張大会
 2004 NTT Triathlon Japan Cup, 4th Stage
NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦
 19th September 2004



<女子>

バースデー・フィニッシュ 中西真知子(NTT 東日本・NTT 西日本) 優勝！！

強風の影響からスイムコースを幕張の浜から浜田川河口に移し、定刻の午前7時にレーススタートした「NTTジャパンカップ第4戦・ITU インターナショナルイベント幕張大会」の女子のレースは、アテネ五輪からの帰国第1戦となった、中西真知子が自らの誕生日(28歳)を祝う独壇場のレースとなった。

中西は、2000年世界チャンピオンのニコル・ハケット(オーストラリア)とともにスイムから先行し、バイクでは2位グループに2分弱の差をつけ、ハケットとともにラン勝負になったが、2周回目には5秒の差でトップにたち、最終周回では26秒の差をつけて、堂々の1位フィニッシュ。アテネ五輪20位の成績を跳ね返し、2008年北京五輪に向けた最高のスタートとなった。3位には、上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)が第2集団からランで抜け出し、地元応援団の声援をうけてフィニッシュ。

<男子>

ベテラン 山本淳一(K'S-Y・稲毛ITC) 地元で勝利！！

午前9時スタートの男子エリート33名は風速13mの中でのスイム競技となった。

アテネ五輪補欠の山本良介(神奈川県トライアスロン連合)に大きな期待がかかったレースだったが、大会を制したのは、地元千葉県出身の山本淳一、苦節5年でオリンピックディスタンス(51.5km)の公式戦での優勝となった。

スイムで飛び出したのは、スペシャリストの平野司(関西大学)と藤村大(沖縄県トライアスロン連合)、そしてワールドランキング53位のセス・ウェリング(アメリカ)。しかし、バイク2週目から山本(淳)、山本(良)らを含む12名の集団となった。テクニカルなバイクコースから抜け出した両山本、セスのラン勝負となったが、2週目から山本(淳)が抜け出し、見事1位でフィニッシュ。2位は、セス・ウェリング、3位にはバイク5位から追い上げ、ランラップ1位を取った益田大貴(湘南ベルマーレ)が入った。

